

カパー ストリーム



Vol.2
2011.02

Copper News!

TBS
みのもんたの
『朝ズバッ!』

「銅の殺菌力」が TVでズバッ!と話題に

昨年末に放送されたTBSの人気番組『みのもんたの朝ズバッ!』で、“銅の殺菌力”がクローズアップされた。

いままでも多くのTV番組や新聞などで銅は取り上げられてきたが、インフルエンザが流行している中、多くの方が注目する全国ネットの朝の報道・情報番組で「銅の殺菌力」が取り上げられたのはタイムリーである。しかも、番組内で、みのもんた氏より、世間一般に残る緑青への誤解を力強く一蹴する一言も。

具体的にどのような番組が放送されたのか、その概要をお届けしたい。

TBS『みのもんたの朝ズバッ!』



2005年3月28日からスタートした『みのもんたの朝ズバッ!』は、TBS (JNN) 系列で、毎週月曜日から金曜日の5:30~8:30 (JST、一部地域は5:55~8:30) の3時間にわたって生放送される朝の報道・情報番組。平日で8:00をまたぐ地上波かつ全国ネットの朝の報道番組は、現在この番組のみである。○出演者: みのもんた/高畑百合子/井上貴博/加藤シルビア/小林悠/美馬怜子 ほか

Copper News! 「銅の殺菌力」がTVでズバッ!と話題に

新聞記事
の概要は…

話題になったのは「電線新聞」とある記事

「銅の殺菌力」について紹介が行われたのは、「業界紙ひろい読み」というコーナー。『電線新聞』に掲載された“保育園に銅製設備”“殺菌力で感染予防”という見出しにみのもんだ氏が注目。この記事に関する情報を紹介しながら、番組では次のようなトークが展開された。



電線新聞の記事の保育園を番組も取材

銅で子どもたちの感染予防
保育園で採用は世界初!



「日本銅センターは、銅が持つ殺菌力を生かした取り組みの一環として、都内の保育園2カ所に銅製の設備を設置した。免疫力の弱い子どもの生活環境に、殺菌効果を持つ銅を採用したことで、ノロウイルスなど様々な細菌類の感染予防に役立てている。こうした目的で保育園に銅を採用するのは、世界で初めて」と電線新聞で報じられている。

「銅なんて水を通すには
最高にいいんですよ、殺菌されて」

みのもんだ氏

女性アナウンサーが電線新聞の記事を説明しながら「保育園では、免疫力の弱い子どもたちのために銅設備を設置されたそうです」と実際に銅設備を導入した八王子市のめじろ保育園を紹介した。

銅製の蛇口、シンクで手洗いし、感染予防する子どもたちの姿が放映され、その映像を見ながら「いまノロ

ウイルス、インフルエンザが流行っていますからね」と説明する女性アナウンサーに「銅には殺菌力があるからねえ」とうなずくみのもんだ氏。

さらに「銅なんて緑青がふいて悪者扱いするものもいるけど、全然そんなことはない!」「銅なんて水を通すには最高にいいんですよ。殺菌されて」とみのもんだ氏がコメント。

続いて日本銅センターが検査した実験データのフリップも登場。設置後、1ヵ月で大きな殺菌効果を示すデータを見て「どーだ!」と駄洒落も含めた頼もしい一言で今回の紹介を締めくくった。



楽しそうに手洗いする園児たち



感染予防に活用される銅製品



銅の殺菌力をデータで解説

【画面はTBS「みのもんだの朝ズバッ!」より】

■細菌検査結果 ※検査期間 設置後1ヵ月間

	設置前	銅設備設置後
一般細菌	875	18
ブドウ球菌	130	0
バチルス属菌	58	5

(日本銅センター調べ)

このようなTV番組などで、銅の殺菌力や正しい知識が紹介され、一般に広く浸透していけば、銅配管の新たな活用・可能性を広げる良いきっかけとなるはず。日本銅センターでも、今回取り上げられた【銅の殺菌力実証実験プロジェクト『子どもを守る安全・安心プロジェクト』】をはじめ、今後も銅の特性をアピールするPR活動を推進し、業界活性化に努めていく計画である。

Copper News! 「銅の殺菌力」がTVでズバッ!と話題に

日本銅センターが推進する

子どもを守る 安全・安心 プロジェクト とは…

いま教育施設では、食中毒やインフルエンザなどによる集団感染が問題となっている。特に病原菌への抵抗力の弱い小さな子どもが集まる保育園ではより深刻な課題だ。

そんな中、日本銅センターは日本鋳業協会、一般社団法人日本伸銅協会、国際銅協会の後援により推進している“銅の殺菌力を実証する実験プロジェクト”の一環として『子どもを守る安全・安心プロジェクト』を展開している。

このプロジェクトの実現にあたり、日本銅センターでは銅製品の導入を希望する施設を公募。応募された八王子市のめじろ保育園と三鷹市にある第二小羊チャイルドセンターへの銅設備導入を支援した。

●保育園での感染予防を支援

めじろ保育園では、TVでも紹介された手洗い場の蛇口、シンクの他にも給食の配膳台、配膳車、トイレのドア（プッシュプレート、ドアノブ）などの各種設備に黄銅を採用している。また第二小羊チャイルドセンターでは、階段の手すりなどに黄銅製品を使用している。

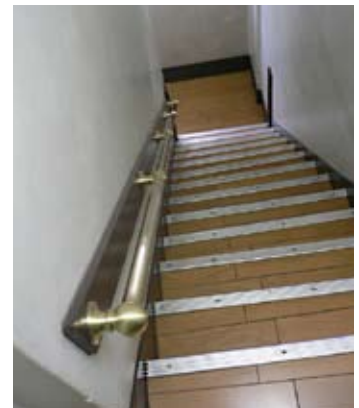
両保育園ともに、以前から免疫力の弱い子どもたちの感染予防に環境表面の消毒、手洗い、うがいなどを徹底されている。今回の銅製品導入により、感染予防をさらに一歩進めることができると、その効果に期待を寄せている。また、「感染予防に銅製品を導入した」ということで、子どもたちはもちろん、職員、保護者にも感染予防に対する取り組み意識を向上させる効果が、早速生まれていると評価されている。

●めじろ保育園で見学会を開催

2010年11月、めじろ保育園のご協力を得て『銅を設置した保育園見学会』を開催した。

めじろ保育園 柗澤章次園長より、子どもたちを接触感染から守るためにどのような工夫をされているのか、今回の銅設備導入に対する感想などをお話いただいた。「ピカピカと輝く銅のシンクは、子どもたちに大人気で、率先して手洗いやうがいをしてくれています」と笑顔でご報告いただいた。

見学会には、北里大学医学部の笹原武志先生を講師としてお招きし、銅の殺菌力について専門家の立場で解説をお願いした。笹原先生は「保育園など免疫を十分に獲得していない体力の微弱な乳幼児が、集団生活する保育園では感染症発症のリスクが高いこと、消毒薬や抗菌薬を多用すると別の病気を誘発する恐れがあること」を指摘された。さらに、落合クリニック（浦安市）での感染防止の実証データを参考に「銅の細菌感染防止能力」について解説。実際に導入された各種設備を見学した後は、めじろ保育園で銅の殺菌能力の調査も行った。

めじろ保育園
柗澤章次園長北里大学医学部
笹原武志先生めじろ保育園では、給食の配膳台や
台車などにも採用第二小羊チャイルドセンターに導入
した黄銅製の手すり

銅の抗菌・殺菌に 各種メディアが注目!



見学会には、地元CATV局や各新聞社をはじめ、多くのメディアが取材に訪れた。笹原先生の講演では質問も飛び交い、「子どもたちを集団感染より守る」ことへの社会的注目度、さらに「銅の殺菌力」に対する期待の高さを強く感じる事となった。